

## 令和3年度の研修（要望まとめ）

### ■医療関係者向け

アンケートから、医療関係者は、患者様が在宅でどのようなサービスを受けて過ごしているのか、医療・介護連携がどのようになされてきたか事例を知りたいとの思いがみえてきた。各職種との連携の中から、患者様や家族の思いを知る事で、自職種のフィードバックができるのではないかと考えられる。

次年度の研修内容としては、患者等から各職種（ケアマネジャー、薬剤師など）に依頼がきてからの一連の流れについて、具体的な事例を挙げて研修して頂くのがよいのではないかと考える。

#### 【在宅医療について知りたい】

- ・実際に在宅へ移行すべき患者さんをどのように見極めていっているかについて教えて頂けるような内容が良いなと思います。

#### 【多職種の仕事内容が知りたい】

- ・多職種の仕事内容、仕事の範囲が具体的に理解できる機会になる
- ・多職種に期待する要望、今回は病棟看護師と訪問看護師の看看連携について触れておりましたが、そういった連携に関する要望というのは今後も教えて頂ければ参考になります
- ・ヘルパーや訪問看護師と会って話す機会がなかなかないのが現状。こういう機会はともありがたいです
- ・多職種がどのような介護連携を行っているかを知りたいです
- ・多職種と関わった事で改善された事例や助けになった事例紹介を希望します
- ・実際にあった医療・介護の現場での内容を知りたいです。
- ・今回のような内容（訪問看護）で、色々な職種での講演会を期待する
- ・多職種の具体的な仕事内容。医療保険、介護保険でできる各職種の仕事内容、仕事範囲についての研修を希望

#### 【薬剤師】

- ・多職種の方との連携など、在宅での薬剤の管理について
- ・在宅医療に力を入れている薬局薬剤師の在宅の経験談、役割などのご講演をききたい

#### 【訪問看護】

- ・訪問看護の実際行われている状況。

### 【ケアマネジャー】

- ケアマネジャーの患者への関わり方、一連の業務内容など。
- ケアマネジャーの方の業務や多職種への要望を教えてください。可能であれば居宅療養の管理が可能な施設とそうではない施設の区別が非常にわかりにくいので（例えばショートステイは NG だけど GH は OK）そのあたりの区別も教えてください。近年施設の名前が多岐に渡り、施設名だけでは判断できなくなってきているので。

### 【医療保険・介護保険の振り分け】

- 医療保険と介護保険の使い分けをどのようにしたらよいのか、個人の状況によって変わるとは思いますが、おおまかにでもよいので教えてください。

### 【患者・家族の言葉がきける事】

- 患者・家族の言葉が聞いて良かった。関わっている看護師などのやる気につながる

## ■介護関係者向け

アンケートから、介護関係者は、高齢者の生活を支える為に介護を行っている対応の中で、疾患についてどのように関わるかについて学びたい思いがみえてきた。疾患についての理解や、持病の悪化や他の疾患の発症時などでどのように医師と関わるとよいのかなどの研修が必要と考えられる。また、令和2年度の研修のように、医療者側の思いもわかるとよりよいのではないかと思われる。医療について学ぶ事で、医療の対する苦手意識がなくなり又、なぜ、このような症状がでるのかをアセスメントできる力がつく事普段と違うと気づく力になると考える。

### 【医療・介護連携について】

- 病院の相談室の動きが分かる研修を受けたい。
- 包括ケアシステム、障害者支援、多職種連携等 訪問看護とのやり取りなど。
- 障害福祉との連携について
- 医師との連携や、訪問診療対応状況の情報について

### 【医師からの講義がいい】

- 医師の立場から介護関係者に向けて伝えたい事をなかなか聞く機会がなかったので今後も続けてほしいと思いました。
- 主治医とのかかわり方についての研修が今後もあれば助かる。
- 救急搬送と受診、様子観察指示受けて、よりよい指示受けをしてもらう方法。
- 介護関係の業務だと、医療の事は見えない部分も多い為、やはり医師又は医療関係者

から発信する研修を増やしてほしいです。

### 【医療に関する情報希望】

- 医療と介護の連携について、医療の方の思いや現実的な状況
- 介護職は疾患や医療用語、医療での常識みたいなものを理解していない事があり、勉強したい。
- 介護職員向けの医療知識。
- 在宅医療の導入や介入について。
- 服薬の支援について。
- 褥瘡のある方への介入方法など
- ケアを行うためのポイントや医療材料が少ない在宅や施設における処置方法。
- 感染対策等関連で、ガウンテクニックや吐物処理等
- 精神疾患の利用者との関わり方など 幻聴や幻覚があるかたのかかわり方（本人の訴えに対するの対応）
- 認知症について、拘縮の予防・対策、感染症予防・対策、排尿と排便関係について 認知症在宅編。
- 利用者様の些細な変化にも気づける様、医療の知識も身につけられる内容を希望。
- 高齢者の多い病気に合わせた対応（どの目線で、どう話すか等）
- 夜間に特変時の介護現場での対応
- 高齢者向けのリハビリのやり方、高齢者に多い病気の内容の研修会など
- 終末期ケア・看取りケア（がん患者、呼吸器疾患、肺炎、老衰等個別の事例）、看取りに関する法的基準。
- 食事はどう調理したら良いか（心臓病や糖尿病等）、栄養指導や献立について

### 【介護の用語など】

- 在宅介護に関する研修会。
- 日々繰り返している介護の中で、ふと見逃している所がないか再確認ができる機会だと思う。介護医療連携を施設形態に応じて違いがある事の説明をしてほしい。
- 介護用品や補助用具の種類や便利な活用方法など知れたらと思う。
- フレイル、サルコペニアのような介護の場にも関わる言葉を教えて欲しい（カタカナの用語が会話の中に出てきても理解できない所があるので）

### 【接遇など】

- 接遇マナーの研修会を行って頂きたいです。電話でのマナー等、いつ何時でも必要なマナーがあると思います。
- サービスの対応マニュアルなど。